



国際宇宙会議「IAC」(豪州シドニー)にて
左から
当社夏明社長
Inovor Technologies Pty Ltd CEO
Matthew Tetlow氏
IHI 執行役員 航空・宇宙・防衛事業領域
仲俣副事業領域長

小型衛星の実証に向けて

IHI、豪州の衛星メーカーInovor社と連携

当社は、IHIおよび豪州Inovor Technologies社とともに、日豪両国の海域監視能力向上に貢献する小型衛星の技術実証に関する共同研究契約を締結しました。日豪両国政府間で近年強化が進む防衛・宇宙分野の協力関係を背景に、両国の海域監視分野における技術力強化や、日豪間の連携強化への貢献を目指しています。

この共同研究では、当社がこれまで宇宙探査を支えてきたセンサ開発の経験と技術力を活かし、小型衛星向けミッション機器(センサ)の開発・製造を担当します。IHIは日豪間の調整およびプロジェクト推進を担い、Inovorは衛星バスの開発・製造ならびに衛星試験を実施します。

日本とオーストラリアの専門知識を組み合わせ、海域監視への貢献というグローバルな成果を達成するため、この衛星向けの新たなセンサの開発に取り組んでいます。

(担当:宇宙防衛事業部)



POTEKA小型気象計

デジタルツイン分野への

POTEKAデータの活用を検討開始

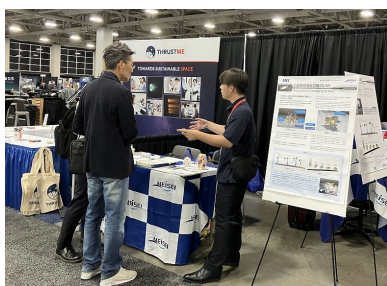
株式会社スペースデータ[※]と事業共創に向けた覚書を締結し、スペースデータが現実世界を仮想空間に再現する「デジタルツイン」分野に、当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAのデータを活用する検討を開始しました。

POTEKAは、国内800地点に独自の気象観測インフラを構築し、15年間にわたり高精度な気象データを蓄積しています。局地的かつ高時間分解能の気象ビッグデータとデジタルツイン技術を組み合わせることで、気象災害対策や社会課題の解決に資する新サービスの開発に取り組めます。

今後、両社で地球デジタルツイン実証版の構築・評価を行い、成果を踏まえ、本格的な事業化に向けて検討していきます。

※株式会社スペースデータ(<https://spacedata.jp/>)

(担当:気象防災事業部)



来場者に説明する当社従業員(右)

「Small Satellite Conference 2025」に出展

8月11日から13日まで、米国ユタ州ソルトレークシティで開催された「Small Satellite Conference 2025(SSC)」に出展しました。SSCは世界最大級の小型衛星に関する学会併催展示会であり、今年は約400社の宇宙関連企業が世界各国から集いました。会場は最新技術や未来の宇宙開発への熱気に包まれ、各社が自社の強みや先端技術を披露する場となりました。

当社は、月面着陸ミッション「SLIM」に貢献した航法カメラやマルチバンド分光カメラ(MBC)のパネル展示を行い、来場者から多くの関心を集めました。実際のミッションで用いられた技術を紹介することで、宇宙探査への新たな可能性を感じさせる展示となりました。

明星電気は、これからも宇宙産業の発展に向けて挑戦を続け、国際舞台で日本の技術力を発信していきます。

(担当:宇宙防衛事業部、営業本部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。